

「全国宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム2000」開催要綱

〔今回の「フォーラム」は、次の4つを柱に開催します〕

- ① 痴呆症高齢者が地域の中で普通に生活し続けるために必要なサービスとは何かを明らかにします。
- ② 介護保険下における「宅老所・グループホーム」の方向と、地方自治体と国の役割を考えます。
- ③ 「宅老所・グループホーム」を、様々な角度から掘り下げます。
- ④ 「宅老所・グループホーム」の実践者、これから関わりたい人、研究者、推進・支援団体、行政など、『痴呆症高齢者が地域で普通に』を目指す人たち同士の交流を深めます。

1. 目 的

痴呆症高齢者が、住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を続けていくために、一人一人のニーズに合ったサービスを提供する在宅福祉サービスの拠点「宅老所」「グループホーム」が全国的に広がり地域に根づきつつある。

こうした状況の中で、全国の関係者800人が集い開催した「フォーラム'98」では、全国で奮闘する「宅老所・グループホーム」運営者の実践報告とともに、その意義を明らかにし、交流を深めた。

第2回目となる「フォーラム'99」では、1200人が参加して「宅老所・グループホームとは何か」を掘り下げるとともに、介護保険下における運営と市町村・都道府県・国の役割を考えた。

これらのフォーラムの開催を通じて99年1月23日には宅老所・グループホームの全国での緩やかなネットワーク組織「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」が発足した。

第3回目となる「フォーラム2000」は、介護保険時代を目前にして、「痴呆症高齢者が地域の中で普通に生活し続ける」ために必要なサービスとは何かを明らかにし、「宅老所・グループホーム」の今後の方向と地方自治体と国の役割を考えることを目的に開催する。

◆この「フォーラム」でいう「宅老所・グループホーム」とは、日帰り・滞在・居住を含む主に痴呆症高齢者小規模ホーム（5～9人程度）を意味する。運営主体の法人の有無や営利非営利は問わない。

2. 日 時

2000年 2月19日（土）12:00 ～ 20日（日）13:25

3. 会 場

佐勘	宮城県仙台市太白区秋保町湯元字葉師28
（全体会会場）	TEL022（398）2211 FAX022（398）2168
ホテルニュー水戸屋	宮城県仙台市太白区秋保町湯元字葉師102
（分科会会場）	TEL022（398）2301 FAX022（398）2242
岩沼屋	宮城県仙台市太白区秋保町湯元字葉師107
（分科会会場）	TEL022（398）2011 FAX022（398）2081

4. 主 催

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム 2000」実行委員会

宅老所・グループホーム全国ネットワーク	みやぎ宅老連絡会
福島ケアホーム連絡会	栃木県高齢者デイホーム連絡会
さいたま痴呆性高齢者小規模ホーム連絡協議会	民間デイサービス・グループホーム千葉県連絡会
富山県民間デイサービス連絡会	あいち宅老連絡会
岡山県民間デイ連絡会	福岡県宅老所（小規模ホーム）連絡会
佐賀県宅老所・グループホーム連絡会	熊本県宅老所・グループホーム連絡会（準備会）
宮城県	仙台市
社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
社会福祉法人宮城県共同募金会	社会福祉法人宮城県福祉事業団
東北福祉大学	

※この「フォーラム」の運営費の一部は、日本財団の助成金を受けています。

5. 参加定員 800人

6. (1) 参加費/12,000円 (2) 参考資料代/3,000円

7. ナイトセッションⅠ,Ⅱ 「参加者相互に交流しちやおうタイム」について

2月19日18:30から23:00まで「佐勘」ホワイエにおいて、①ポスター・パンフコーナー
②物販コーナーを設けます。

- (1) ①、②とも宅老所・グループホームを現在実践している所に限らせていただきます。
(2) ポスター・パンフ配付及び物販希望の方はFAXにて事務局までお申し込み下さい。尚コーナーの
数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

8. 「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」会員割引について

宅老所・グループホーム全国ネットワークは、都道府県連絡会をはじめとし現在350余りの団体・個人が会員となっております。会員の皆様には介護保険や国制度の最新情報をニュースとして毎月お届けする他に、「宅老所・グループホーム」についての研修等のお知らせや問い合わせにお答えしております。

「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」の会員の皆様には「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム 2000」の参加費12,000円を7,000円といたします。

(但し1会員1名様分のみ)

9. 内容(日程)

2月19日[第1日目]

	時 間	内 容
2月19日(土)	11:00~12:00	受 付
	12:00~12:30	開 会
	12:30~13:30	オープニングトーク -実践者からのメッセージ- 「痴呆症高齢者が地域で普通に」 みやぎ宅老連絡会副会長 佐々木 真理子 憩いの家まごの手(富山県) 澤 井 茂 吉 宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表世話人 下 村 恵美子 ◆コーディネーター 日本経済新聞社編集局生活家庭部編集委員 浅 川 澄 一
	13:30~13:50	基調報告 「痴呆性老人介護に関する調査研究報告書 『痴呆性高齢者グループホームの将来ビジョン』」 ◆京都大学工学部教授 外 山 義
	13:50~14:50	基調ディスカッション 「痴呆性老人介護に関する調査研究報告書 『痴呆性高齢者グループホームの将来ビジョン』をめぐって」 ◆パネラー さいたま痴呆性高齢者小規模デ「サービス」連絡会世話人 西 村 美智子 きのこエスポアール病院院長(岡山県) 佐々木 健 NHK福岡放送局報道番組ディレクター 小 宮 英 美 東北福祉大学社会福祉学部助教授 高 橋 誠 一 ◆コーディネーター 京都大学工学部教授 外 山 義
	15:10~17:10	第1分科会 日中の生活を支える「デイサービス(ふれあいサロン)型宅老所」 おひさまくらぶ(宮城県) 近 藤 明 美 宅老所ちよだ(佐賀県) 古 川 雅 子 香住町社会福祉協議会・地域福祉コーディネーター(兵庫県) 青 山 栄 作 ◆コーディネーター 広島国際大学医療福祉学部助教授 賀 戸 一 郎 第2分科会 24時間365日在宅生活を支援する 「多機能型宅老所・グループホーム」 のんびりすみちゃん家(宮城県) 伊 藤 寿美子 ゆいの里(栃木県) 飯 島 恵 子 グループホームきなっせ(熊本県) 川 原 秀 夫 ◆コーディネーター 立教大学コミュニティ福祉学部助教授 森 本 佳 樹

15:10~17:10	<p>第3分科会 住まいと介護サービスを提供する 「単独型グループホーム」</p> <p>グループホームこもれびの家(宮城県) グループホームもえれのお家本館・北大館(北海道) 尼崎グループハウス(兵庫県)</p>	<p>蓬田 隆子 倉貫 元英 中村 大蔵</p>
	<p>◆コーディネーター 立教大学コミュニティ福祉学部教授</p>	<p>橋本 正明</p>
	<p>第4分科会 宅老所・グループホームの質の向上を問う 「スタッフの研修のあり方」</p>	
	<p>特養・グループホーム幸豊ハイツ(北海道) 宮城県保健福祉部長寿社会政策課技術主査 きのこエスポール病院(岡山県)</p>	<p>大久保 幸積 岡本 咲子 篠崎 人理</p>
	<p>◆コーディネーター 宮城県立大学看護学部教授</p>	<p>太田 喜久子</p>
	<p>第5分科会 小規模多機能地域密着型「宅老所・グループホームの支援のあり方」 みやぎ宅老連絡会副会長 (調整中) 中央共同募金会企画課長 栃木県健康福祉部高齢対策課長 (調整中)</p>	<p>内海 静子 阿部 陽一郎 麻生 利正</p>
	<p>◆コーディネーター 群馬松嶺福祉短期大学教授</p>	<p>安田 陸男</p>
	<p>第6分科会 「痴呆症高齢者の権利擁護を考える」 仙台市権利擁護相談センター所長(宮城県) いずみの杜診療所院長(宮城県) 東京都老人総合研究所研究員 田村ソーシャルネット代表 九州大学法学部教授</p>	<p>田村 正晴 山崎 英樹 永田 久美子 田村 満子 河野 正輝</p>
	<p>◆コーディネーター 福祉自治体ユニット事務局長</p>	<p>菅原 弘子</p>
	<p>第7分科会 特養・老健においても宅老所・グループホーム的な ケアができる「小規模ユニットケア」</p>	
	<p>老健・いづみケアセンター(埼玉県) 特養・潤生園(神奈川県) 特養・いなさ愛光園(静岡県)</p>	<p>工藤 浩三 時田 純 森 茂廣</p>
	<p>◆コメンテーター 和歌山大学工学部教授</p>	<p>足立 啓</p>
	<p>◆司会 特養・老健ユニットケア全国セミナー実行委員会</p>	<p>武田 和典</p>

15:10~17:10	<p>第8分科会 痴呆症高齢者が安心して暮らせる「介護付きのまち」</p> <p>武蔵野市民社会福祉協議会事務局次長(東京都) 山本 芳 裕</p> <p>特養・アザレアさなだ グループホーム曲尾(長野県) 宮 島 渡</p> <p>特養・あじさいの里(大阪府) 小 林 早智子</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>日本福祉大学社会福祉学部教授 平 野 隆 之</p> <p>第9・A分科会 宅老所・グループホーム実践リレー報告</p> <p>風の里(東京都) 野 月 接 子</p> <p>お違者くらぶ(愛知県) 五 藤 万里代</p> <p>色えんぴつ(岡山県) 田 中 金 子</p> <p>たんぽぽの家(福岡県) 田 中 英 子</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>兵庫県社会福祉協議会地域福祉部長 藤 井 博 志</p> <p>第9・B分科会 宅老所・グループホーム実践リレー報告</p> <p>紺の家ザ・セカンド(青森県) 澤 向 裕 子</p> <p>元気な亀さん(埼玉県) 渡 本 信 吉</p> <p>グループホームあんじん(千葉県) 石 井 慎 子</p> <p>サービスセンターばる(神奈川県) 根 来 正 博</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>宮城県社会福祉協議会地域福祉部長 松 本 誠 康</p> <p>第10分科会 宅老所・グループホームこれから始めたい人向け入門講座</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク事務局 小野寺 知 子</p> <p>東北工業大学大学院工学研究科博士課程後期建築学専攻 井 上 博 文</p> <p>日本福祉大学福祉社会開発研究所研究員 大 橋 美 幸</p> <p>シルバーしあわせの里(愛知県) 藤 本 久 子</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>愛知学泉大学コミュニティ政策学部助教授・東海地区宅老所研究会 高 橋 博 久</p>
17:10~19:00	夕食・休憩
19:00~21:00	<p>ナイトセッションI</p> <p>◆ナイトトーク 「地方自治が支える痴呆介護 —痴呆症高齢者が地域で普通に生活し続けるために—」</p> <p>宮城県鳴子町長 高 橋 勇次郎</p> <p>愛知県高浜市長 森 貞 述</p> <p>宮城県知事 浅 野 史 郎</p> <p>滋賀県知事 國 松 善 次</p> <p>(調 整 中)</p> <p>◆コーディネーター</p> <p>NHK解説主幹 村 田 幸 子</p>

21:00~23:00	ナイトセッションII 参加者相互に交流しちやおうタイム ①相談交流コーナー②ポスター・パンフコーナー③物販コーナー
-------------	---

2月20日[第2日目]

2月20日(日)	8:30~9:15	宅老所・グループホーム全国ネットワーク総会 (宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員のみの参加となります)
	9:30~11:00	対象のバリアをこえたディスカッション 「誰もが地域で普通に ー共通する思いの地域連携・地域協力にむけてー」 ◆パネラー 宅老所・グループホーム全国ネットワーク世話人 惣 万 佳代子 全国地域生活支援ネットワーク運営委員 北 岡 賢 剛 湘南学園専務理事・保育の家しょうなん園長 塚 本 秀 一 厚生省大臣官房審議官 辻 哲 夫 全国社会福祉協議会地域福祉部長 和 田 敏 明 ◆コーディネーター 日本福祉大学教授 平 野 隆 之
	11:00~12:00	役割が多様化する宅老所・グループホームのこれからを語る 「介護保険目前!どうするの・どうなるの宅老所・グループホーム」 ◆パネラー 全国グループホーム連絡協議会代表理事 福 島 弘 毅 宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表世話人 槻 谷 和 夫 宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表世話人 高 木 敏 江 宮城県保健福祉部長寿社会政策課長 千 葉 宇 京 仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課長 西 城 正 美 ◆コーディネーター 東北福祉大学社会福祉学部助教授 高 橋 誠 一
	12:15~13:15	鼎 談「痴呆症高齢者が地域で普通にー宅老所・グループホームへの期待ー」 厚生省社会・援護局企画課長 河 幹 夫 厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課長 山 崎 史 郎 朝日新聞社論説委員 大 熊 由 紀 子
	13:15~13:25	閉 会

※プログラムの関係上、2月20日は昼食の時間を取る事が出来ませんでした。

参加者の皆さまにはあらかじめご了承ください、各自調整下さいますようお願いいたします。

※今回は、毎年同時期に開催される下記の3つの「フォーラム」が開催日程を調整したうえで、共同広報を試みています。「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2000」・「アメニティフォーラムinしが」・「全国ボランティアコーディネーター研究集会2000」

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2000」 参加登録・分科会・宿泊・昼食・航空機・送迎バス・観光のご案内

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2000」の参加登録(下記1)・分科会(下記2)及び参加に係る宿泊(下記3)・昼食(下記4)・航空機(裏面5)・送迎バス(裏面6)・観光(裏面7)の申込手続き一切は、近畿日本ツーリスト仙台支店「フォーラム2000」係にて承ります。案内1～12をご一読の上、期日までお早目に申込手続きをお済ませ頂きますようお願い申し上げます。皆様の仙台・秋保温泉へのお越しを心よりお待ちしております。

1. 参加登録について

- 参加費としてお一人12,000円(全国ネットワーク会員17,000円)、参考資料代3,000円を申し受けます。
- 参加ご希望の方は、添付の申込書に必要事項をご記入の上、近畿日本ツーリスト仙台支店宛に1月14日(金)必着でFAX・郵送又はE-MAILでお送りください。E-MAILご利用の場合は、白紙のフォームをE-MAILで発信いたしますので、事前にメールアドレスをお知らせください。(EXCEL97で書き込み可能な方に限ります)尚、締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきますので、お早目にお申込下さい。参加登録申込書は、宿泊・昼食・航空機・送迎バス・観光の申込書も兼ねておりますので、参加登録と同時に申込をお願いいたします。

2. 分科会について

- 別紙開催要綱に記載の番号(第1・2・3・4・5・6・7・8・9A・9B・10)でお申込下さい。
- 各分科会参加人数には制限がございますので、原則として先着順とさせていただきます。必ず第2希望・第3希望の記入をお願いいたします。(第9分科会は必ずA・Bに区別してご記入下さい)

3. 宿泊について

- 今回のフォーラムは、秋保温泉の一流老舗旅館「佐勘」・「ニュー水戸屋」・「岩沼屋」3会場での協同開催となっており、各会場間はいずれも徒歩1分以内の至近距離です。宿泊に関しては、各旅館同一グレードの客室を利用いたします。
- 宿泊代には、諸税金(消費税・特別地方消費税・入湯税)・夕食時の一定量のお飲物代が含まれており、1泊2食でお一人16,000円です。
- 日帰り参加の方で、フォーラム会場旅館での夕食ご希望の方は、申込書その他の欄に○印をして頂き、下の記事欄にその旨をご記入をお願いいたします。料金は、10,000円を申し受けます。
- 宿泊のお部屋は原則和室となります。男女別相部屋で5～8名の定員利用となり、宿泊旅館の指定はできませんのでご了承下さい。旅館の割振・部屋割は、近畿日本ツーリストにご一任いただきます。
- 1名での1室利用は、フォーラム当日のお部屋数に限りがあるため、追加料金の有無に係わらずお受けできませんのでご了承下さい。
- 2名以上でのお部屋単独利用ご希望は、下記追加料金をお支払いいただき、お部屋の追加手配が可能となった場合にのみお受けいたします。但し、その場合でも、旅館の指定はできません。

4名一室利用の場合:お一人様 2,700円プラス

3名一室利用の場合:お一人様 5,400円プラス

2名一室利用の場合:お一人様10,800円プラス

- 前・後泊ご希望の場合は、下記料金で別途追加手配を承ります。但し、追加手配はフォーラム当日に宿泊いただくお部屋とは異なりますのでご了承下さい。宿泊旅館は「佐勘」・「ニュー水戸屋」・「岩沼屋」いずれかご希望で承りますが、お手配希望を頂いた後の手配となりますので、必ずしもご希望通りの手配とならない場合もございますのでご了承下さい。その他旅館・ホテル及び仙台市内ホテル等の宿泊手配ご希望の場合は個別に対応させていただきますので、お問い合わせください。

6名以上一室利用の場合:お一人様12,750円(1泊2食税込・和室利用)

4名以上一室利用の場合:お一人様14,850円(1泊2食税込・和室利用)

3名一室利用の場合:お一人様15,900円(1泊2食税込・和室利用)

2名一室利用の場合:お一人様19,590円(1泊2食税込・和室利用)

1名一室利用の場合:お一人様30,390円(1泊2食税込・和室利用)

4. 昼食について

- 1日目昼食(2月19日11:00～11:45 全体会会場旅館にて)ご希望の方は、1,000円にてご用意させていただきます。フォーラム開会直前でも手早くお召し上がり頂ける丼物(汁物付)にてのご用意となります。ご希望の方は、1日目昼食申込欄に○印のご記入をお願いいたします。
- 2日目昼食(2月20日13:00～13:45 全体会会場旅館にて)ご希望の方は、1,500円にてご用意させていただきます。開会後ですので、ゆったりとお召し上がり頂ける和膳にてご用意いたします。ご希望の方は、2日目昼食希望欄に○印のご記入をお願いいたします。昼食後に出発のバスも設定しておりますので、併せて送迎バス申込の方はHS2又はHA2の便の選択をお願いいたします。

5. 航空機について

- フォーラム開催日受付に間に合う当日便(福岡・広島・伊丹・関西・名古屋・千歳発)と、フォーラム終了日解散後に間に合う当日便(福岡・広島・伊丹・関西・名古屋・千歳着)の航空券を、フォーラム参加者特別割引料金でご案内いたします。座席数が限定されておりますので、先着順に締切とさせていただきます。申込締切後の申込は出来ません。申込後のお取消の場合は、別記取消料を申し受けます。団体特別割引航空券につき、航空券お渡し後の搭乗便の変更・払い戻し等は一切できませんのでご注意ください。
- 同一時間帯に複数便の運行がある路線での航空会社・便名は現時点では指定できません。最終案内発送時に決定便をお知らせいたします。
- 指定便以外の個人用航空券(ノーマル券・早割・得割券)・JR券・高速バス券等については、取扱をいたしませんので、恐れ入りますが、お近くの旅行代理店にて各自のお手配をお願いいたします。
- 指定便以外で仙台発着便の同一路線同一便で同一グループ5名以上のご利用の場合は、団体特別運賃を適用できる場合もございますので、その場合はお問い合わせください。
- お申し込みの際は、下記指定便記号を申込書記入欄にご記入をお願いします。

往路航空便一覧(各地発仙台着:2月19日・土曜日) ※下記発着時刻は11年12月1日現在の予定ダイヤです。							
記号	発着港	予定発時	予定着時	予定便名	特別運賃	普通運賃	備考
CS	札幌千歳	09:00	10:10	ANA-720	13,000円	20,800円	
NS	名古屋	08:25	09:35	ANA-365	13,000円	20,700円	JAS-461の場合も有
IS	大阪伊丹	08:35	09:45	JAS-671	17,000円	22,800円	ANA-731の場合も有
KS	大阪関西	08:45	10:05	ANK-291	17,000円	22,800円	
HS	広島	08:00	09:25	ANA-282	18,000円	27,300円	
FS	福岡	08:25	10:05	JAS-931	24,000円	32,150円	
復路航空便一覧(仙台発各地着:2月20日・日曜日) ※下記発着時刻は11年12月1日現在の予定ダイヤです。							
記号	着空港	予定発時	予定着時	予定便名	特別運賃	普通運賃	備考
SC-1	札幌千歳	15:40	16:55	ANA-727	13,000円	20,800円	
SC-2	札幌千歳	18:30	19:45	ANA-729	13,000円	20,800円	
SN-1	名古屋	15:25	16:35	ANA-368	13,000円	20,700円	
SN-2	名古屋	18:55	20:05	ANA-370	13,000円	20,700円	
SI	大阪伊丹	16:50	18:15	ANA-738	17,000円	22,800円	JAS-672の場合も有
SK	大阪関西	19:45	21:30	ANK-294	17,000円	22,800円	
SH	広島	18:05	19:50	ANA-283	18,000円	27,300円	
SF	福岡	17:55	20:05	JAS-934	24,000円	32,150円	ANK-476の場合も有

6. 送迎バスについて

- 宮城交通路線バスご利用の場合、秋保温泉までは、仙台駅西口バスターミナルより1時間に1本又は2本程度で、所要55分、運賃片道780円です。仙台空港から直行の定期バスはございませんので、仙台駅西口バスターミナルまで空港リムジンバス(所要40分・片道運賃910円)で一旦でて頂き、上記定期バスに乗り換える必要がございます。
- 仙台駅前からタクシーご利用の場合は、片道約8,000円、仙台空港からは12,000円程度です。
- 秋保温泉までの交通事情を勘案しまして、指定航空便発着時刻及びフォーラム受付・解散時刻に合わせて仙台空港及び仙台駅東口広場より各旅館送迎バスと貸切バスを併せて運行いたします。全体の輸送費用を利用者全員で按分することにより、全ての参加者に均等に安い運賃をご提供させていただきます。(旅館送迎バス・貸切バスどちらに乗り換えた場合でも下記同一運賃です)
- ご利用は各便片道ずつ別々のお申込が可能です。
- お申込の際は、下記便名を申込書にご記入をお願いいたします。

便名<SH>	仙台駅東口発 (10:15)→(11:00)秋保温泉着	運賃片道500円
便名<AH>	仙台空港発 (10:30)→(11:20)秋保温泉着	運賃片道750円
便名<HS1>	秋保温泉発 (13:30)→(14:15)仙台駅東口着	運賃片道500円
便名<HS2>	秋保温泉発 (14:00)→(14:45)仙台駅東口着	運賃片道500円
便名<HA1>	秋保温泉発 (13:30)→(14:20)仙台空港着	運賃片道750円
便名<HA2>	秋保温泉発 (14:00)→(14:50)仙台空港着	運賃片道750円

※バスは上記発着時刻に保わず、満席になり次第順次出発いたします(但し最終便は必ず上記発着時刻まで待機いたします)

7. 観光について

- フォーラム終了後、雪国のみちのくの風情を満喫いただける小旅行を御用意いたしました。ご希望の方は、申込書に○印と同室人数希望をご記入下さい。同室人数希望が無い場合は男女別の相部屋でご案内させていただきます。
- 最少催行人員は25名です。人数に満たない場合は、旅行の実施を中止する場合もございます。
- 観光コースご参加の方の各地への交通機関の手配を別途承ります。基本的に個人運賃の適用となりますが、ご希望の方は、申込書その他の欄に○印をご記入いただくと共に、下欄に具体的手配希望をご記入をお願いいたします。

○ご旅行行程・代金は下記の通りです。

「おしんの故郷銀山温泉と最上川雪見舟・山寺雪景色の旅」

	行 程	食 事
2月20日 (日)	14:00 16:30 秋保＝(山形自動車道)＝「銀山温泉」(夕食・泊) NHKドラマ「おしん」の故郷	朝：× 昼：× 夕：○
2月21日 (月)	8:30 10:00 11:00 12:30 13:30 銀山温泉(朝食)＝最上川雪見舟＝山寺風雅の国(昼食)＝ 15:20 16:20 ＝(山形自動車道)＝仙台駅＝(仙台東部道路)＝仙台空港	朝：○ 昼：○ 夕：×
宿泊旅館：山形県尾花沢市銀山新堀85「仙峡の宿銀山荘」 Tel:0237-28-2322		
ご旅行代金	4名以上一室利用(相部屋の場合)：お一人様 25,000円	
	3名様一室利用(ご希望の場合)：お一人様 27,000円	
	2名様一室利用(ご希望の場合)：お一人様 30,000円	

8. 事務手数料について

○ご参加の皆様は大会登録事務手数料・送料として、お一人様300円を申し受けます。参加申込後、お取消になった場合でも事務手数料がかかりますのでご了承下さい。

9. 今後の手続きスケジュールについて

- 参加登録・航空・宿泊・観光・送迎バス申込締切：1月14日(金) 必着でお願いいたします。
- 参加登録証(フォーラム全体会・各分科会参加証)・航空券引換証・宿泊券・昼食券・観光参加券・送迎バス乗車券等一式、請求書送付：1月末日までお手元に送付いたします。但し、その他個人申込の航空券・JR券・宿泊クーポン券等の金券がある場合(前・後泊、観光コース終了後の復路の交通機関手配等)は、その後の送付又はフォーラム会場総合受付(旅行会社窓口設置予定)でのお渡しとなる場合もございますが、その場合は事前に通知いたします。
- 請求金額振込又は郵送：2月10日(木)までにお振込又は現金書留にて送付をお願いいたします。振込の際の振込手数料は参加者のご負担となりますのでご了承下さい。尚、振込用紙の控えを以て領収書の代わりとさせていただきますので、振込用紙の控えは大切に保管なさって下さい。領収書が必要な方は、フォーラム総合受付にて振込用紙の控えをご提示頂ければその場で発行いたします。

振込先	銀行支店名：七十七銀行名掛丁支店(店番号201)
	口座番号：(普通) 5205824
	口座名義：近畿日本ツーリスト(株)仙台支店

10. 変更・取消について

- 変更・取消につきましては、聞き違いや混乱を避けるために、電話での受付は一切行いません。お手数ではございますが、FAX・郵送・E-MAIL等の書面で速やかにご連絡をお願いいたします。ご連絡の際は、申込書原本に訂正上書きして頂きますようお願い申し上げます。
- 変更・取消につきましては、下記取消料を申し受けます。取消申出日が当社休業日(土・日・祝日)及び営業時間外の場合には、その後の営業日にお申出頂いたことになりますので御注意下さい。

お取消申出日	宿泊・食事	航空片道 福岡線	航空片道 福岡以外	送迎バス	観光
当該予約の13日～8日前まで	10%	4,000円	3,000円	10%	20%
当該予約の7日～2日前まで	20%	8,000円	6,000円	20%	30%
当該予約の前日	50%	8,000円	6,000円	50%	40%
当日	100%	12,000円	9,000円	100%	50%
無連絡不参加	100%	100%	100%	100%	100%

- 参加費・資料代・事務手数料は取消の場合でも一切返金はありませんのでご了承下さい。その場合、フォーラム終了後に参考資料一式を送付いたします。
- 上記以外の追加手配に関する取消料は、当該運送約款・宿泊約款に準じて実費を申し受けます。
- 変更・取消に係わる精算は、フォーラム終了後、2月末日までに行います。

11. 申込・問合先(参加登録・宿泊・昼食・航空・送迎バス・観光に関して)

近畿日本ツーリスト仙台支店「フォーラム2000」係	担当：阿部(あべ)・菅場(かやば)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目6-37中央レントビル8階	
TEL：022-264-4894 FAX：022-262-3627 E-MAIL：sendai@tohoku.knt.co.jp	
営業時間：月曜から金曜 10:00～18:00 土曜・日曜・祝日休業	

12. フォーラム会場旅館について

秋保温泉：仙台市南西郊外23^区、鳴子・飯坂と共に奥州三名湯に数えられています。仙台的奥座敷として、遠来のお客様をもてなすのにふさわしい大型で近代的な旅館が立ち並んでいます。近代的な中にも磊々峽のせせらぎに抱かれ、みちのくの温泉の風情を心ゆくまで堪能いただけます。

○「伝承千年の宿 佐勘」

歴史と格式に彩られた伊達家ゆかりの宿。古美術展示室である主屋は政宗公から頂戴したもの。
〒982-0241 宮城県仙台市太白区秋保町湯元字薬師28 Tel.022-398-2211
フォーラム総合受付・全体会・ネットワーク総会・ナイトセッション会場
分科会会場（分科会会場詳細未定）



伊達家の湯浴み御殿として栄えた伝統と格式あるお宿。溪谷の底部にある野趣あふれる檜の露天風呂や趣のある大浴場が大好評です。

- ◆交通 〓 JR仙台駅からバスで約50分
〓 東北自動車道仙台南ICから約15分
- ◆チェックイン 14:30 チェックアウト 12:00
- ◆建物 花月館・10階建・昭和58年築
- ◆お部屋 バス付和室（5名）、バス付和洋室（6名）

○「ホテルニュー水戸屋」

自然の息吹が薫る庭園大浴場で疲れを癒し、浴後は旬の東北の味をご賞味下さい。
〒982-0241 宮城県仙台市太白区秋保町湯元字薬師102 Tel.022-398-2301
分科会会場（分科会会場詳細未定）



多彩な花木が配された庭園大浴場「薬師の湯」では、男女あわせて10種類の浴槽にあふれる温泉がお楽しみ頂けます。

- ◆交通 〓 JR仙台駅からバスで約50分
〓 東北自動車道仙台南ICから約15分
- ◆チェックイン 14:00 チェックアウト 11:00
- ◆建物 白梅亭・6階建・平成元年改築
- ◆お部屋 バス付和室（5名）

○「岩沼屋」

創業370年の伝統に近代性が加わるお宿。趣のあるお風呂や料理長白根のお料理が好評。
〒982-0241 宮城県仙台市太白区秋保町湯元字薬師107 Tel.022-398-2011
分科会会場（分科会会場詳細未定）



日本の原風景を思わせるお庭を眺めながら温度が異なる4つの岩風呂が楽しめます。自然に溶け込む露天や家族風呂でお寛ぎ下さい。

- ◆交通 〓 JR仙台駅からバスで約50分
〓 東北自動車道仙台南ICから約15分
- ◆チェックイン 15:00 チェックアウト 10:00
- ◆建物 長生館・7階建・平成7年改築
- ◆お部屋 バス付和室（6名）

「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2000」参加登録・分科会・宿泊・昼食・航空・送迎バス・観光申込書

申込代表者氏名				都道府県	
資料送付先住所	〒				
資料送付先Tel	()	-	内線()	資料送付先Fax	() -
勤務・所属先住所	〒				
勤務・所属先名				所属部署	
勤務・所属先Tel	()	-	内線()	勤務・所属先Fax	() -
返金の際の指定口座	金融機関名:			支店名:	
	口座番号:(普通・当座)			口座名義:	

申込月日: 月 日()

受付番号:

【申込先】

近畿日本ツーリスト仙台支店

フォーラム2000係

TEL: 022-264-4894

FAX: 022-262-3627

E-MAIL: sendai@tohoku.knt.co.jp
E-MAILでの申込希望の際はアドレスをお知らせください

〒980-0021 仙台市青葉区中央

2丁目6-37中央レントビル8階

担当:阿部(あべ)・萱場(かやば)

営業時間:月~金 10:00~18:00

勤務・所属先分類(下記番号を丸で囲んでください)

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
宅老所	デイサービスセンター	ヘルパー	在宅介護支援センター	特別養護老人ホーム	老人保健施設	病院・診療所	社会福祉協議会	行政	企業	研究機関	マスコミ	その他
グループホーム	デイケアセンター	訪問看護婦										

参加者氏名	所属部署名 職名	年齢	参加登録	分科会			宿泊	1日目昼食	往路航空	復路航空	送迎バス	観光コース	その他
		性別	参考資料	第一希望	第二希望	第三希望	2月19日	2日目昼食	2月19日	2月20日	往路・復路	2月20日発	(下欄記入欄)
ふりがな きんき たろう (例) 近 幾 太 郎	仙台市役所福祉課 課長代理	38 才 男・女	○ ○	5	9A	1	○	○ ○	F-1		往路: AH 復路: HS2	○ (4名1室)	○
ふりがな 1		才 男・女									往路: 復路:	(名1室)	
ふりがな 2		才 男・女									往路: 復路:	(名1室)	
ふりがな 3		才 男・女									往路: 復路:	(名1室)	
ふりがな 4		才 男・女									往路: 復路:	(名1室)	
ふりがな 5		才 男・女									往路: 復路:	(名1室)	

本件内の必要事項をご記入お願いいたします。用紙が足りない場合はコピーしてお使いください。申込み後の控えとして必ず保管をお願いいたします。恐れ入りますが、申込み後の変更は、電話では一切受付いたしませんので、申込み用紙原本を記入訂正の上で、必ずFAX・郵送・E-MAIL でお送りください。

☆上記以外の手配希望(その他に丸をつけた方)がある場合はご記入ください。

宿泊手配:	日帰り参加:	その他: